

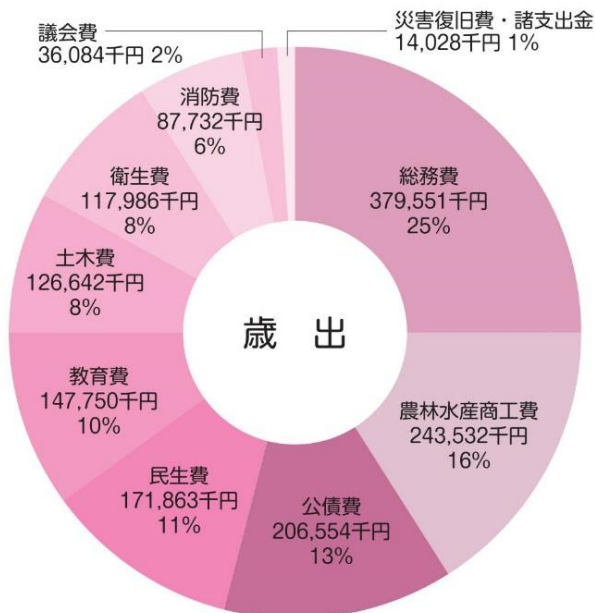
平成26年度 決算報告

歳出

村が使ったお金は**15億3,172万2千円** (対前年度伸率-7.8%)

《一般会計》

- 総務費：庁舎の維持管理や戸籍、徴税、選挙、監査事務など村の総括的な事務に使ったお金
- 農林水産商工費：農林水産業、商工業、観光の振興などに使ったお金
- 公債費：国などから借り入れたお金(村債)の返済などに使ったお金
- 民生費：社会福祉や医療助成など、安定した社会生活を保証するために使ったお金
- 教育費：小中学校、社会教育や保健体育など、教育各般に使ったお金
- 土木費：道路、公営住宅などの整備や維持管理に使ったお金
- 衛生費：健康診断や各種検診、ごみ処理など健康で衛生的な生活環境を保つために使ったお金
- 消防費：消防や防災対策に使ったお金
- 議会費：議会の運営などに使ったお金
- 災害復旧費：災害によって道路や山林などに生じた被害を復旧するために使ったお金



■村債(借金)残高の推移



■基金(預金)残高の推移



歳出の主な増減として、総務費は基金積立金の減額等により1億1,501万9千円の減額、土木費は道路橋梁新設改良費の減額等により7,664万円の減額、教育費は小学校宮繕工事の増額等により197万5千円の増額、衛生費は南和広域医療組合負担金の支出等により2,518万9千円の増額、災害復旧費は道路橋梁災害復旧費の減額等により1,146万9千円の減額となりました。村債は必要な事業を厳選して発行を抑え、基金は行財政改革等による歳出の削減により増額を図っています。

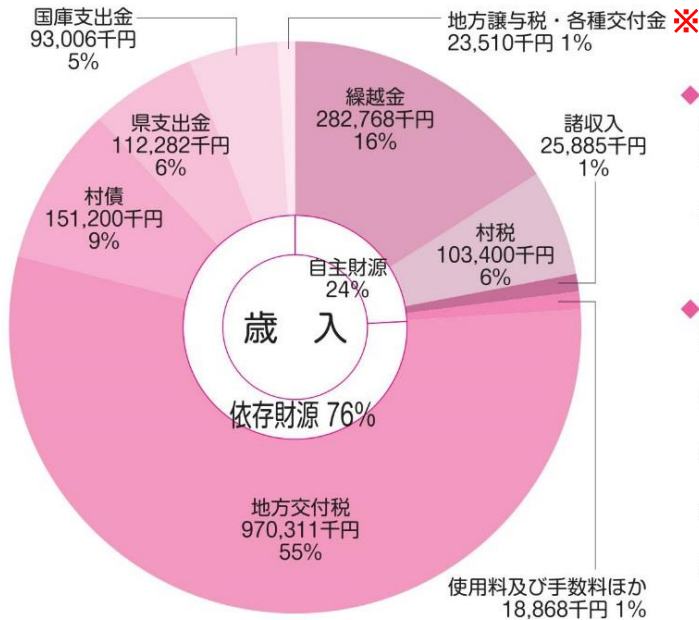
■特別会計決算の状況

会計別	歳入		歳出	
	決算額	対前年度伸率	決算額	対前年度伸率
簡易水道事業	3,440万7千円	△ 2.8%	3,189万4千円	+ 1.7%
国民健康保険	1億2,839万6千円	+ 5.9%	1億242万2千円	+ 0.2%
国保診療所	9,259万2千円	+ 1.7%	7,659万6千円	△ 6.5%
介護保険	1億53万0千円	+ 0.6%	9,650万1千円	△ 1.0%
後期高齢者医療	1,616万5千円	△24.1%	1,569万3千円	△25.1%

平成26年度の一般会計・特別会計の決算が9月議会で認定されました。村民の皆さんが納められた貴重な税金や国、県からの補助金などが、村づくりにどのように使われたのか、村の決算の概要、財政の状況についてお知らせします。

歳入

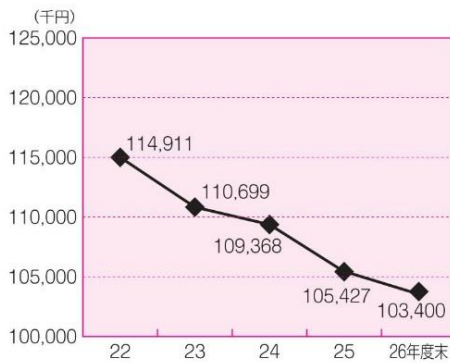
村に入ったお金は**17億8,123万0千円** (対前年度伸率-8.4%)



《一般会計》

- ◆自主財源 (自主的に収入することができる財源)
 - 繰越金：前年度から持ち越された余剰金
 - 村税：村民税や固定資産税など、村民の皆さんに納めていただいたお金
 - 使用料及び手数料：村の施設の使用や住民票の交付など、特定の行政サービスを受けた人に負担していただいたお金
- ◆依存財源 (国や県などから交付される財源)
 - 地方交付税：村の財源状況に応じて国から交付されたお金
 - 村債：特定の事業を行うために国などから借り入れたお金
 - 県支出金：特定の事業を行うために県から交付された負担金、補助金などのお金
 - 国庫支出金：特定の事業を行うために国から交付された負担金、補助金などのお金
 - 地方譲与税：国税として徴収され、地方自治体へ譲与されるお金

■村税の推移

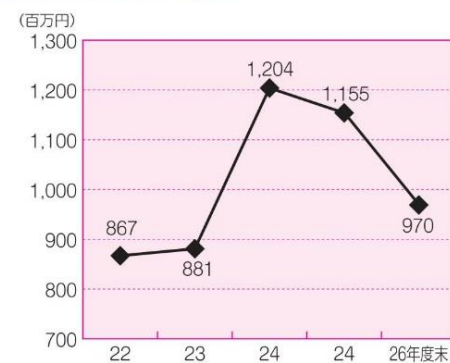


※ 地方消費税交付金のうち消費
税引上げに係る社会保障財源化
分(106万円)は、民生費の高齡
者見守りシステム導入費用(221
万3千円)に充てました。

歳入は、前年度より1億6,263万2千円の減収で、減収の主な要因としては歳入の55%を占める地方交付税の減収です。村税は納税義務者の減少等により減少傾向が続いており、村民税(個人)、固定資産税、軽自動車税の減収等により前年度より202万7千円の減収となりました。

また、補助事業の増減等により国庫支出金は4,042万5千円の減額、県支出金は1,494万1千円の増額となりました。

■地方交付税の推移



■歳入歳出決算額(一般会計)の推移

